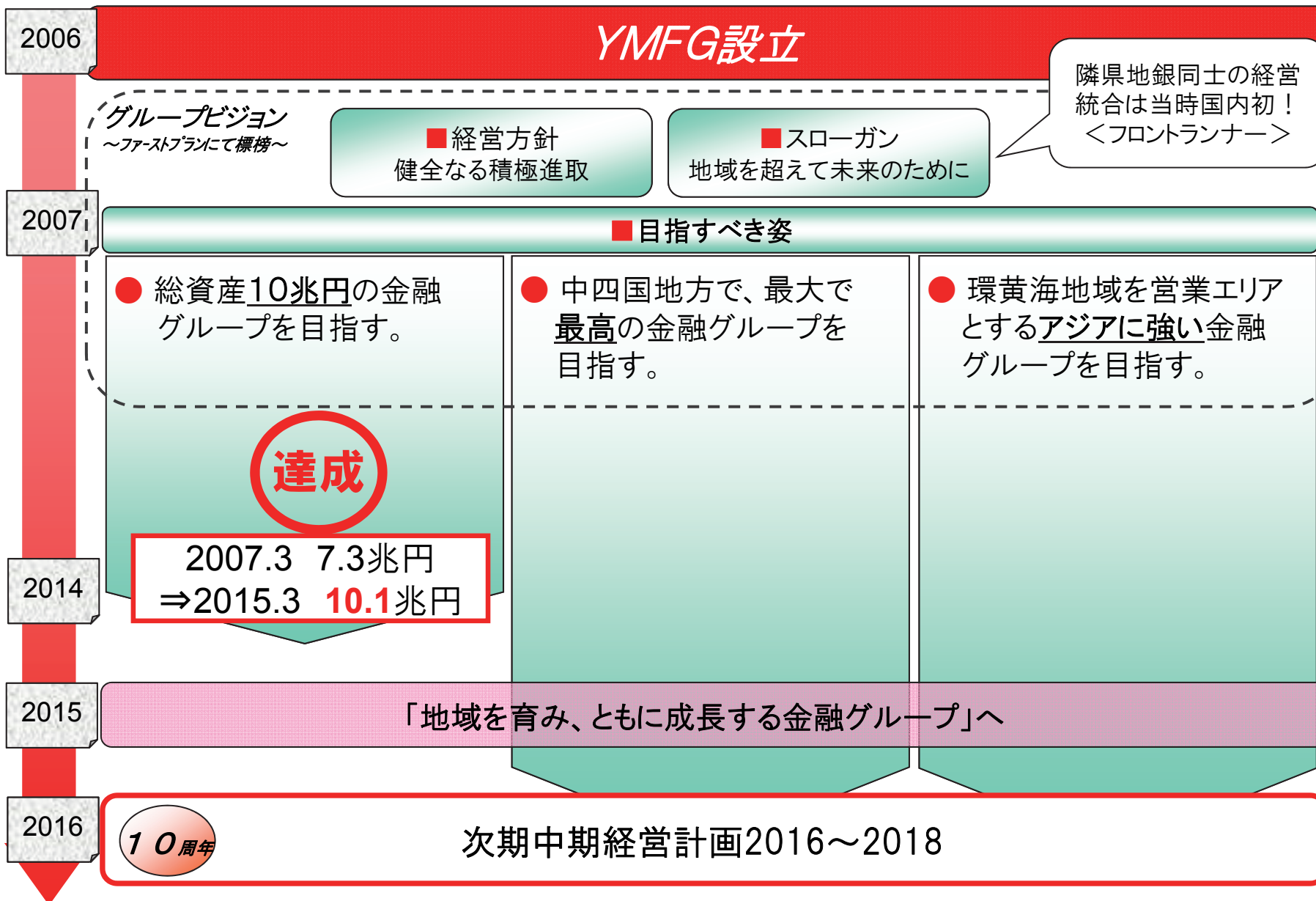


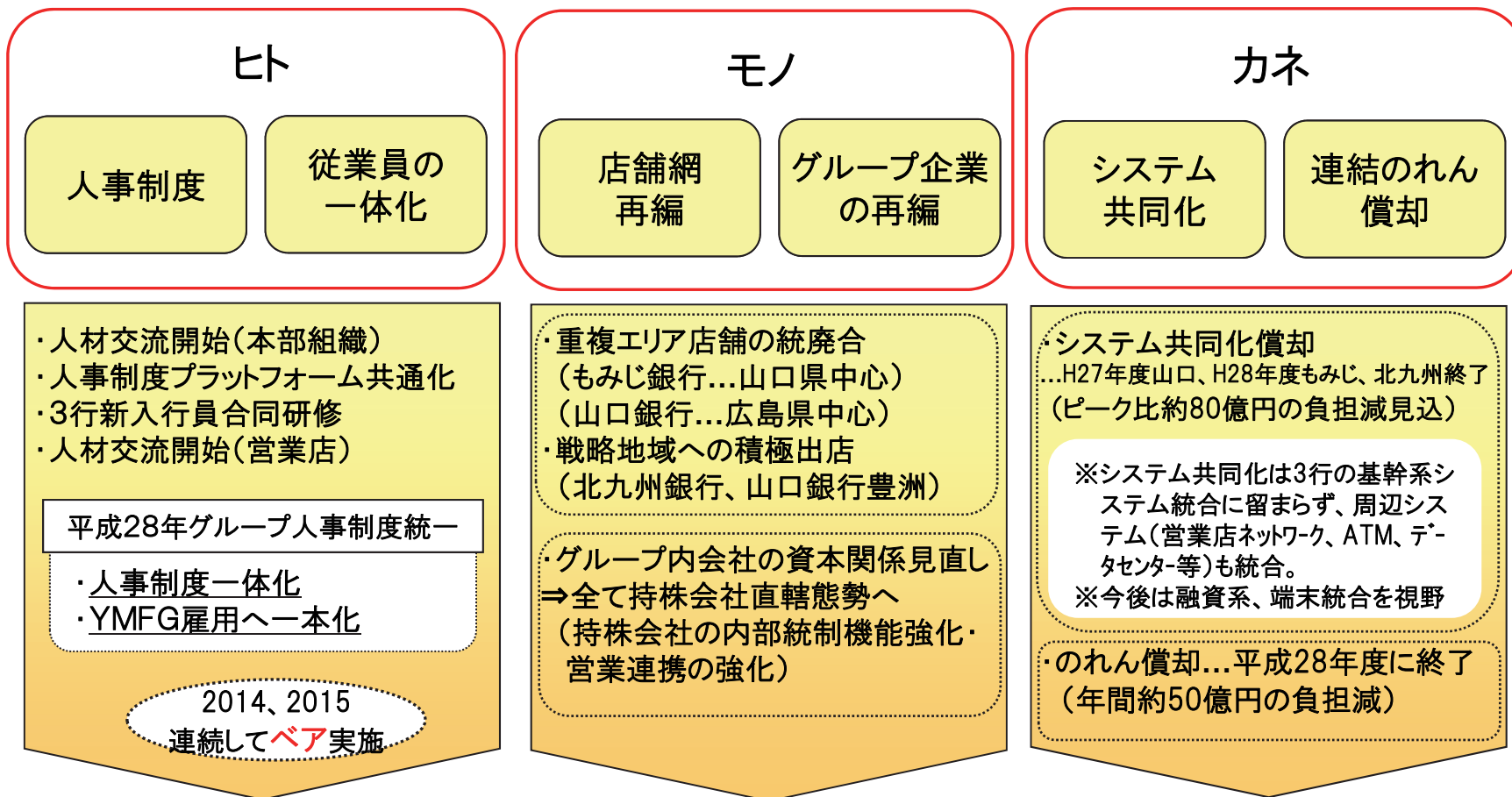
## 2.グループ戦略

# YMFGの歩み(設立～10周年に向けて)



# 経営統合のフロントランナーとしての成果

- 2006.10当時としては、隣県地銀同士初の経営統合として発足し、現在8年余。
- 経営統合のヒト・モノ・カネに関する諸課題を地道に着実にクリアしてきた(未来に向けた足場固め)。



経営統合の諸課題をクリアー。統合メリットを享受する段階へ。  
⇒ YMFGは次世代フェーズへ(次は統合の果実をいかに活用するか)

- 中期経営計画2013にて、当初2年間は1つのYMFG・地域とYMFGの共栄に向けソリューション営業の体制を整備。
- 最終年度(2015)は、グループ一体となったソリューションビジネスの深化を図り、地方創生に資する存在となる。

## ■2013～2014 Summary

- ◆グループ3行にソリューション営業部を新設(H26.7)、それぞれに情報コーディネーターを配置
- ◆3行にCRM情報管理体制を整備、広域に情報マッチングを展開
- ◆大企業とのレレーションを活かし、バイヤー企業とサプライヤー企業をマッチング(商流創出)
- ◆地域ファンド等設立
  - ・クラウドファンディング
  - ・やまぐち夢づくり産業支援ファンド
- ◆官、学との包括連携協定締結
- ◆アジア各地の銀行と提携
- ◆人事制度統一に向けた検討
- ◆グループガバナンスの強化

## ■2015 中計最終年度

- 実効性ある地方創生に向けた態勢整備  
～官・学との連携強化

密接に関連

- 法人向けソリューション
  - ◆地域をつなぐ商流創出について  
～マッチングソリューション
  - ◆アジアネットワークの構築  
～海外ソリューション
  - ◆創業・事業拡大・事業承継への支援  
～ライフステージソリューション
- 個人向けソリューション
  - ◆最適な商品・サービスの提供  
～ライフプランソリューション

「地域を育み、ともに成長する金融グループへ」

# ● 実効性ある地方創生に向けた態勢整備～官・学との連携強化



- 山口県と地方創生に係る包括連携協定を締結(H27.3.12)
- 山口大学・MOT総合研究所と包括的連携協定を締結(H27.1.16)



- グループ3行がそれぞれの地域の公設機関と密着した連携を実践。
- 3銀行の専門部署(地域振興部)を中心に官・学・民一体となった地方創生事業を実践していく。
- 各県のスポーツ振興や森林整備活動など広範なCSR活動を通じ、地域活性化に資する活動を行政と展開中。



- 広島修道大学との包括的連携協力に関する協定書締結(H27.3.26)
- 県立広島大学との包括的連携協力に関する協定書締結(H26.10.31)

具体化

- クラウドファンディング運営会社として山口ソーシャルファイナンス(株)設立(H27.4.1)(MOT総合研究所・賛同企業・当行)  
※山口大学協力
- 女性創業応援やまぐち(株)設立(H27.4.7)(山口県・賛同企業・当行)



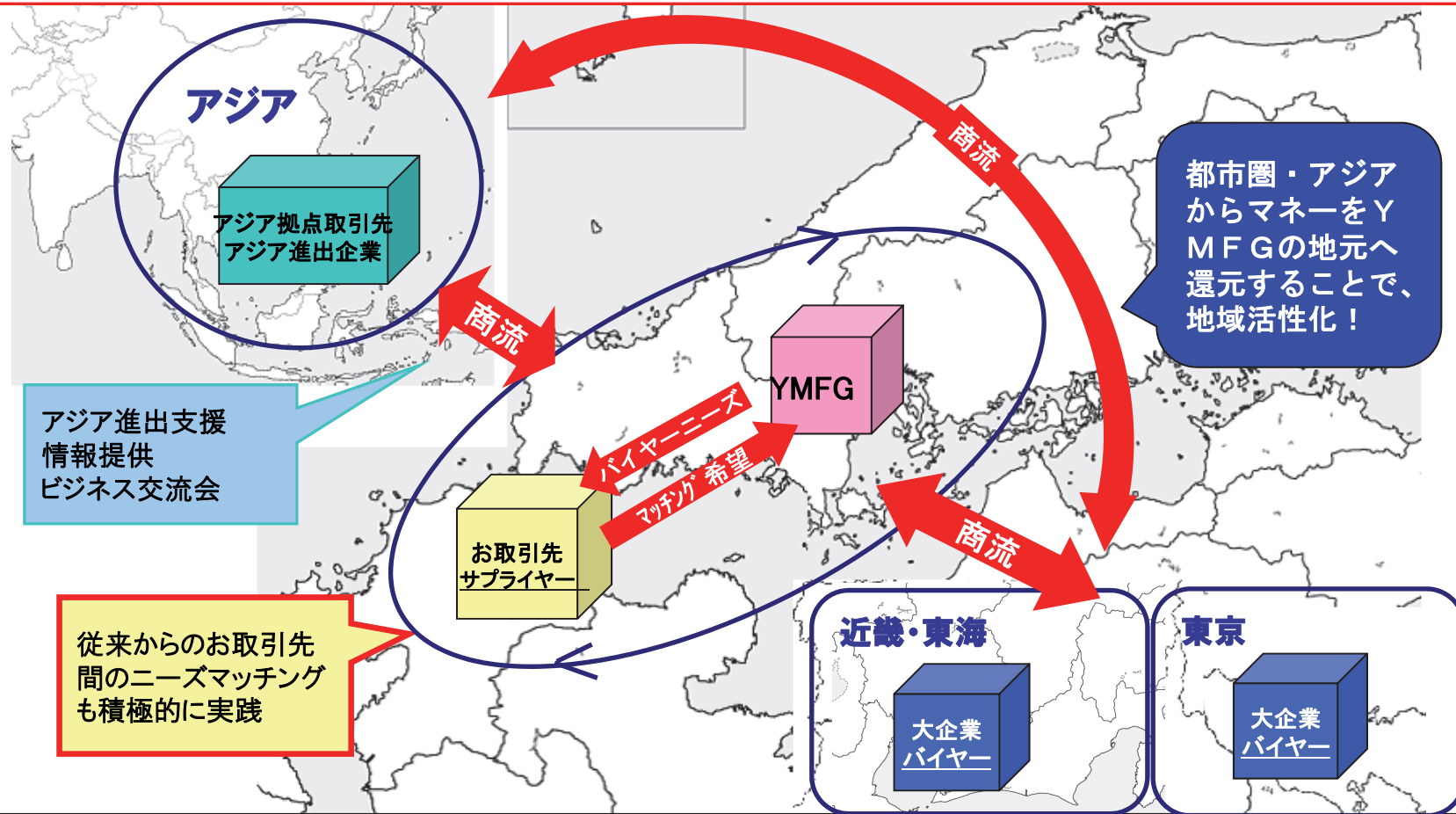
- 北九州市指定金融機関の指定  
平成23年10月開業以来、公金取扱業務に携わり、地場企業支援、産学官連携への参画が評価され、平成27年度～平成30年度で4行輪番制による指定金融機関を担当する事が決定。

+ プレミアム商品券などを計画

# ◆地域をつなぐ商流創出について～マッチングソリューション

## ■YMFGの商流マッチングに関する強み

- ・旧来からの大企業との永いレレーション ⇒大企業の仕入ニーズを地域のお客様につなぐ(〇〇を作って欲しいetc)。
- ・YMFGの広域エリア ⇒山口・広島・福岡県を中心とした広範な取引先につなぐ(バイヤーにとっても有益)。
- ・YMFGのアジアネットワーク ⇒グローバルマーケットにYMFG取引先をつなぐ。



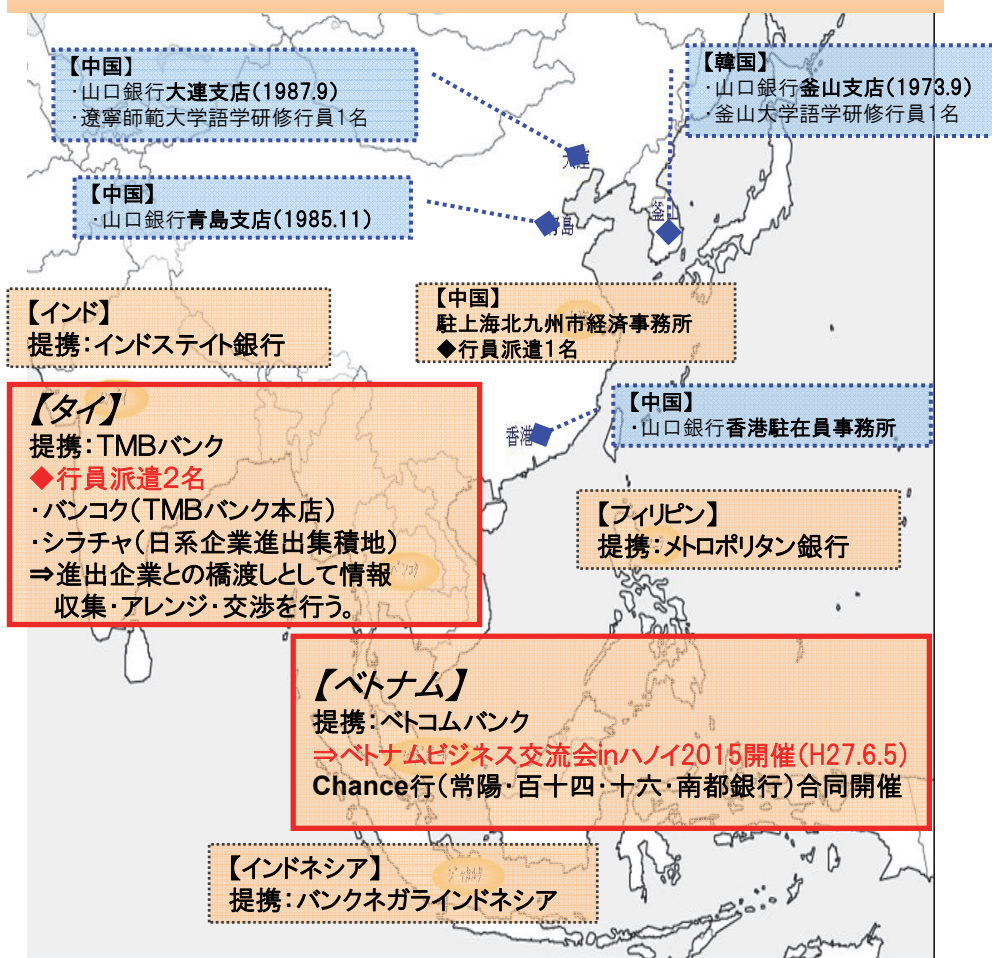
- YMFGグループ3行のソリューション営業部(H26.6新設)に情報コーディネーターを配置
- CRM情報を元に情報マッチングを3行広域に展開
- ニーズ公開企業(大企業を中心に現在39社)の取引条件を取引先へ展開

# ◆アジアネットワークの構築～海外ソリューション

- 旧来より海外拠点を中心としたお客様の進出をサポート(ビジネスマッチング・ファイナンス)。
- 経済のグローバル化に伴い、アジア進出企業の橋渡し役として、提携戦略を拡大。

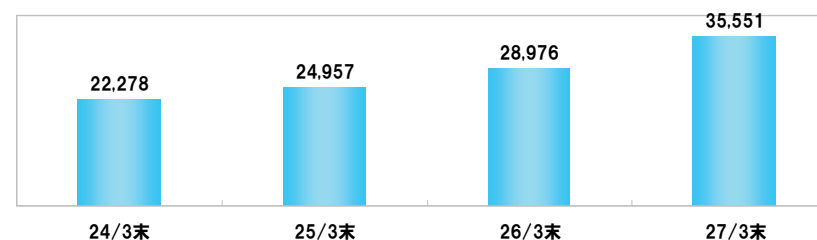
## アジアにおける拠点(3支店・1駐在員事務所)

### アジアとの提携戦略強化



## 海外支店与信残高の拡大

海外支店与信残高(単位:百万円)



- 人民元建融資取扱認可第1号の地銀: 山口銀行
- 日本の16金融機関からスタンドバイLCを引受け、現地法人への融資を取扱い。
- クロスボーダー人民元決済取扱(自行内にて人民元建貿易決済完結)。

## 今後の重点分野

- 「チャイナプラスワン」への対応
- 海外事業コンサルティング能力の強化
- グローバル人材の育成  
人材派遣等を通じ、進出企業のお役に立つ人材を育成する。

- 企業のライフステージに応じたソリューション営業を展開し、中長期的なリレーション強化の深化を図る。
- 創業支援に注力し、地域の活性化と雇用創出に資する企業育成を行う(地方創生の視点)。

### ● 創業支援

#### ・クラウドファンディング(山口ソーシャルファイナンス株)

《出資者: MOT総合研究所・山口銀行・山口キャピタル・賛同企業18社》

#### ・女性創業応援やまぐち株設立

《出資者: 山口県・山口キャピタル・山口銀行・山口県内賛同企業13社》

#### ・日本政策金融公庫との連携(「創業支援・女性社会進出支援」分野)

～女性起業家セミナーを開催(H26.11.25)

### ● 事業承継・M&A・事業再生

- ・ワイエムコンサルティングと銀行営業店が連携し、徹底した事業承継およびM&A案件の掘り出し
- ・再生支援先に対する経営再建計画策定フォロー
- ・事業再生ファンド(やまぐち事業維新ファンド)

### ● 事業拡大支援

- ・商流創出に向けたニーズマッチング支援
- ・地域活性化ファンド(トリプルアクセセル成長支援ファンド)
- ・官民連携ファンド(やまぐち夢づくり産業支援ファンド)
- ・ビジネスセミナー、大規模ビジネスマッチング
- ・ワイエムコンサルティングによる事業拡大支援
- ・知財評価融資制度の取扱開始  
～H27.4第一号案件実行(地中熱を利用した空調システムを分析・評価)



# ◆最適な商品・サービスの提供～ライフプランソリューション

- 個人のライフプランに沿った、最適な商品・サービスの提供を行い、将来的な顧客基盤の拡大と深堀りを行う。
- 住宅ローンを中核に世帯管理の徹底により、リテールファイナンスを推進する。
- グループ企業(ワイエム証券、ワイエムコンサルティング、井筒屋ウィズカード)と連携し、最適な提案を行う。

## ●リテールファイナンス

新たなリテール開拓として、**山口銀行豊洲支店**を開設(銀行代理業活用)。成長過程にある東京湾岸部の資金ニーズを捉まえる。



3行の代理店窓口を兼ねた  
山口銀行豊洲支店

ATMローン等の非対面チャネルも増強方針

様々なチャネル開拓を行い(都心部での挑戦、非対面チャネルの構築...)、リテールファイナンスの底上げを図る。

住宅ローンは住まいのコーナーを中心に業者ルート開拓・増強を継続。

## グループ企業連携による顧客基盤拡大

ライフプラン・イベントをきっかけとした  
新規顧客獲得・既存顧客取引増

若年・子育て層	資産形成層	退職者層	高齢層
<ul style="list-style-type: none"> <li>・YMカード</li> <li>・積立貯蓄保険</li> <li>・無担保ローン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅ローン</li> <li>・生保</li> <li>・資産運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退職定期</li> <li>・資産運用</li> <li>・相続対策準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相続対策(資産承継・遺言信託・教育資金贈与)</li> </ul>

## ●個人預り資産

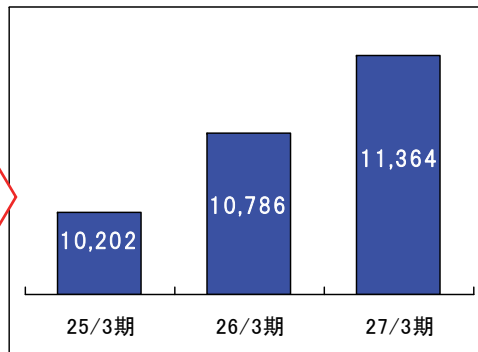
銀行窓口の資産運用担当者・得意先が世帯管理(支店間でもニーズ共有)

ワイエムコンサルティングとの連携  
...企業オーナー・地主・開業医等へ資産承継など専門的なコンサルティングを実施

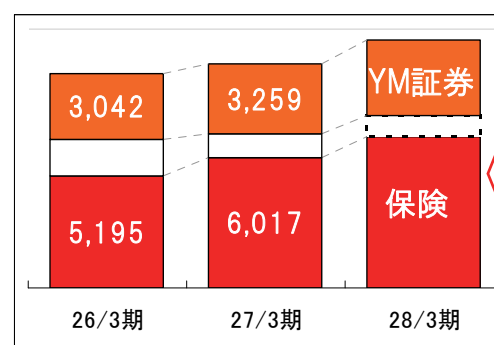
ワイエム証券との銀証連携  
...資産運用ニーズの強い顧客を仲介し、証券会社による専門的な商品・提案を提供。

井筒屋ウィズカード  
...流通ルートからの個人顧客囲い込み

グループ個人ローン残高(億円)



グループ個人預かり資産残高(億円)



低金利環境の中、預金以外での運用ニーズをグループで着実に捉えていく。

- 監査等委員会設置会社への移行 (FG・3銀行・ワイエム証券) により、グループのコーポレート・ガバナンス体制の一層の充実を図る。
- グループ内の資本関係を見直し、グループ会社は全て持株会社直接出資会社へ

## ● 監査等委員会設置会社への移行 (本年6月の定時株主総会での承認が条件)

※移行予定会社

### 山口フィナンシャルグループ

山口銀行

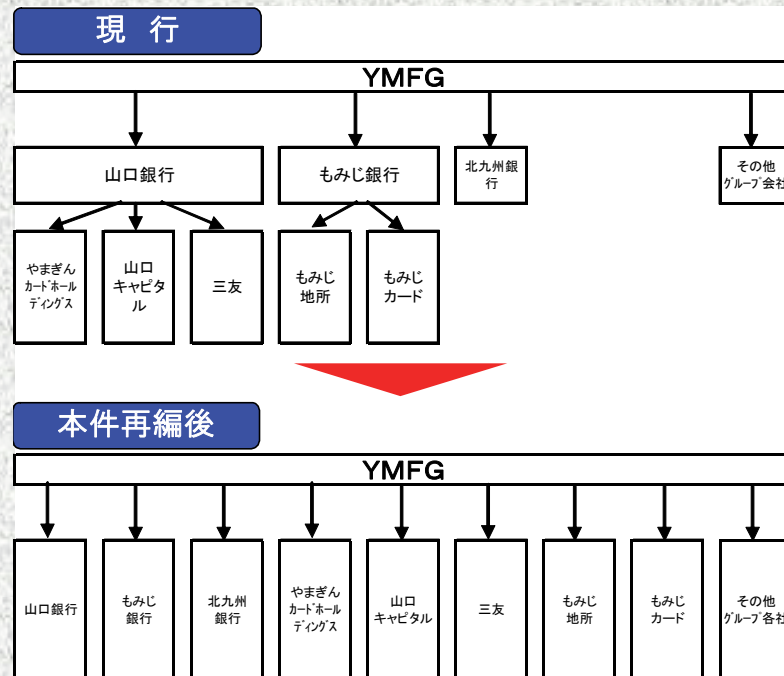
もみじ銀行

北九州銀行

ワイエム証券

監査等委員である取締役(過半数は社外取締役)に取締役会における議決権を付与することで、各々の監査・監督機能を高める。  
⇒コーポレート・ガバナンス体制の充実により企業価値の向上を図る。

## ● 持株会社の内部統制機能強化(資本関係見直し)



すべてのグループ内会社が当社の直接出資会社となることで、グループ内部統制機能を強化すると共に、グループ内会社に対してスピーディーな意思決定を実現する。